臺灣日日新報
本日四頁

第三次ブーゲンビル島沖航空戰

敵艦艇九隻を撃沈破

戰艦、大型空母等を捕捉

【東京發至急報】**大本營發表**（十一月十三日十六時）

一、帝國海軍航空部隊は十一日晝夜間に亙り惡天候を冒しブーゲンビル島南方海面に於て敵機動部隊を捕捉、攻撃し左の戰果を得たり

撃沈 巡洋艦（若しくは大型驅逐艦）一隻（轟沈）

撃破 戰艦一隻（中破）大型航空母艦二隻（小破）大型巡洋艦一隻（大破炎上）巡洋艦（若しくは大型驅逐艦）三隻（大破炎上）驅逐艦一隻（大破炎上）

撃墜 二機

我方の損害 自爆未歸還合計三十機

二、帝國海軍航空部隊並びに海上部隊は十二日ラバウルに來襲せる敵約二百機を邀撃しその七十一機を撃墜せり

本戰闘に於て我方損害 驅逐艦一隻沈沒、巡洋艦一隻小破、未歸還十機なり

【註】本航空戰を第三次ブーゲンビル島沖航空戰と呼稱す

壯絶・白晝堂々の攻撃

愈よ本格的決戰へ

敵も制空權獲得に必死

【東京電話】十月二十七日米軍のモノ島上陸に端を發したニューブリテン島ラバウル及びブーゲンビル島周邊に於ける航空戰に於て我が海鷲並びに海上部隊は[illegible]敵艦船六十餘隻を撃沈破[illegible]、敵はこの膨大な犠牲にも屈せず執拗な反攻を示して來た、即ち十一日[illegible]モノ島西方海面に於て航行中の敵[illegible]を發見、この艦隊に對し我が海鷲は折柄の惡天候を[illegible]敵艦隊の上空に殺到、白晝堂々壯烈な[illegible]、氣負立つた我が[illegible]、敵艦隊の猛烈な砲火中に敢然飛込んで[illegible]巡洋艦一隻を轟沈し更に大型航空母艦二隻に損傷を與へ[illegible]

[illegible]

【東京電話】ソロモン海域における日米兩軍の決戰は今や敵の[illegible]ブーゲンビル島西方海面において[illegible]十一月一日のブーゲンビル[illegible]

ムンダに佐藤部隊奮戰記 ㊁

凄絶極る陣地爭奪戰

死守・最後の一兵まで

【東京電話】[illegible]清水部隊清水大尉の指揮する一箇隊地では吉田隊長の指揮する一箇隊が[illegible]此處でも[illegible]死傷者は續出した、しかし「最後の一兵まで」である、例へば死傷者は續出しようともイ高地の陣地を死守せんとする吉田隊の[illegible]一歩も退かず[illegible]ここで[illegible]負傷兵だつたのである、「元氣のある者はあの戰車を叩きつぶせ」[illegible]吉田隊長の聲に應じて飛出す兵を見よ[illegible]

[illegible]

風雲急の清水臺

[illegible]

八高地撃滅戰

[illegible]「ロ」高地は敵の手中にあり「ロ」から「ハ」までの直距離は二乃至三百米[illegible]「ロ」から「ハ」は[illegible]

[illegible]

慘絶二高地爭奪戰

[illegible]

銃劍閃し洞窟に突入

陳師長以下を捕虜

大津部隊戰闘詳報

【華北前線〇〇十三日發同盟】[illegible]

麾下

[illegible]

前進

[illegible]

洞窟

[illegible]

戰果及び戰闘日誌

【東京電話】敵米軍が十月二十七日モノ島に上陸して以來ラバウル、ブーゲンビル島を中心にソロモン諸島方面に展開された[illegible]日米決戰に我が海鷲部隊があげた輝く大戰果及び戰闘日誌は左の通りである

△十月二十七日 早朝敵の一部モノ島に上陸、我が[illegible]

△十月三十一日—十一月一日 モノ島東方海面及びブーゲンビル島西方海面に[illegible]

△十一月一日 ブーゲンビル島沖[illegible]

△十一月二日 [illegible]

△十一月五日 ブーゲンビル島沖[illegible]

△十一月八日 第二次ブーゲンビル島沖航空戰[illegible]

△十一月十一日 ラバウル空襲[illegible]

△十一月十一日 第三次ブーゲンビル島沖航空戰[illegible]

廣東、香港間に新作戰

治安攪亂の禍根を芟除

【廣東十三日發同盟】廣東、香港間に[illegible]

南支軍發表（十三日十一時）

[illegible]

南支軍報道部長談

[illegible]

三方面より包圍

狼狽の敵は右往左往

【廣東十三日發同盟】[illegible]

ハノイ、ハイフオンに來襲敵機遁走

【ハノイ十三日發同盟】[illegible]

米船印度洋で撃沈

[illegible]

マドラスに空襲警報

【ベルリン十二日發同盟】[illegible]

千葉公使をトルコへ出張

【東京電話】[illegible]

政長官發令

[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

この勇壯な音樂と共に
最後の勝利の日まで征かむ！
平岡
アルバム
第4輯
行進曲集
平岡養一 木琴獨奏
日本ビクター管絃樂團
十吋三枚組 七圓卅九錢
ビクターレコード
日本音響株式會社

（十二月上旬發賣）

外務省調査部
吉森實行著
ハワイを繞る日米關係史
（新刊弘報十四號）
A5判三二〇頁 價二圓六十錢

再版
大槻正男著
稻の花
（新刊弘報十三號）
B6判 三七四頁 價二圓五十錢

文藝春秋社
東京 麹町區內幸町二ノ一

日本評論社新刊重版
新刊弘報第一三一一號參照
井藤半彌著 財政學概論
小町谷操三著 ボンヌカーズ 海商法の獨自性
船田享二譯 ガイウス 法學提要
後藤俊瑞著 朱子
石黑俊逸著 荀子
木村義辰編 教養文獻解說
以下重版
高田保馬著 第二經濟學概論
難波田春夫著 國家と經濟
高島善哉著 經濟社會學の根本問題
宮田喜代藏著 貨幣の生活理論
大河內一男著 スミスとリスト
太平洋協會編 ニューギニアの自然と民族
佐々井信太郎著 二宮尊德傳
齋藤忠著 西鶴

創元社新刊
東京 神田區 振替東京一五六八四
大阪 北區 振替大阪七〇九九五

ディールス 平田寬譯
古代技術
（創元科學叢書）
定價三・五〇 送・二〇
古典學界の巨匠が、ギリシア・ローマの技術について[illegible]

（科學の泉）菅井準一 蒸氣の力
（科學の泉）山田治夫 熱の經濟

文學博士 野上豐一郎編修
能樂全書（全六卷）
第四卷（第四回配本）能の演出
A5判 古雅裝 定價各五・〇〇 送料・三〇
能樂は日本民族獨自の藝術表現である。本全書は能樂專攻の諸權威[illegible]能樂研究の總決算集大成を期したものである

遂に完成！十一月發賣
富山房
世界大地圖
校閲 大日本帝國陸地測量部・編纂 富山房

生島廣治郎 大東亞共榮圈 綜合貿易年表
佛領印度支那
近藤春雄著 ドイツの健民運動
藤川洋著 燈臺の知識
東京 神田 富山房

社説

次年度府豫算の性格

臺灣總督府次年度豫算は、この程府當局の査定を完了、[illegible]主計課長より最後の査定案を各部に内示した。この間復活要求も二件あつたが、之を以て全くその編成を終り、議會提出の運びも出來た譯である。勿論、吾々もまだ豫算案そのものを見て居らぬから、詳細なる批評は出來ないが、傳へられるところによつてその性格を窺ふと、[illegible]

◇

元來より戰時豫算は、平時に於ける底の財政的な頭腦を以て之を見ることは出來ない。況してそれが國家存亡の岐路に立つ現下の如き重大な決戰段階に於ては尚更であつて、財政の健全性を保持せんとするにのみ偏き、[illegible]

◇

而して、之等の財源に充當するため、中央の方針に準據し、直接税を主とする増税を行ふ豫定とあるが、之亦當然のことであらねばならぬ。吾々は元來本年度の増税に、間接税を先にしたことについて多少の不滿を持つてゐた。[illegible]

併し乍ら、歳入方面に於て、右増税以外に公債の發行は出來る丈け低目にして欲しい。[illegible]

原材料絲統制を强化

計畫生産を圓滑に遂行

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等に關する臨時措置に關する法律）第二條及第三條の規定に依り、十四年八月府令第九十四號を以て[illegible]

配給統制規則

第一條　物資統制令に基く原材料絲（以下絲と稱す）の配給統制に付ては本令の定むる所に依る

第二條　本令に於て絲とは臺灣總督の指定したる絲にして之を原料又は材料とする製品の製造を業とする者（以下工業者と稱す）が其の製品の原料又は材料に使用する絲を謂ふ

第三條　絲は臺灣總督の指定したる者（以下配給機關と稱す）又は[illegible]

【附則】本令は公布の日より之を施行す、昭和十四年府令第九十四號[illegible]

下淡水溪の治水造林

更に山奥へ・奉仕隊進む

【高雄】南方前進基地として重大使命を帶びる高雄州が[illegible]

海南島と本島は密接

矢野府鑛務課長着任

【海南島】より府鑛務課長に就任の矢野[illegible]

日糖増資内定

大日本製糖株式會社では[illegible]

海口市勤勞奉仕團結成さる

【海南島支局】海口市長を團長とする海口市勤勞奉仕團[illegible]

決戰

青年よ農村へ

◇…大東亞戰爭の戰局が[illegible]

（花蓮港中部）

稻害防除の要諦（上）

豫察燈と寄生蜂保護器

先に全島農林關係課長會議に於て本一期作米生産目標四百三十四萬石必達を期し、これが増産上の根幹として稻の大敵、螟蟲驅除豫防を更に强化すべく豫察燈（各市街庄に一ヶ宛、二千七百個）及び寄生蜂保護器（一八〇〇個）を設置、被害を激減させ、増産確保を期することになつたので[illegible]

先づ

光に就いては其の[illegible]

光線	
赤	〇・八一〇―〇・六四〇 m
橙	〇・六四〇―〇・五九〇 m
黄	〇・五九〇―〇・五五〇 m
緑	〇・五五〇―〇・四九〇 m
青	〇・四九〇―〇・四三〇 m
菫	〇・四三〇―〇・三八〇 m
紫外線	〇・三八〇 m 以下
X線	〇・〇〇一―〇・〇〇〇〇一 m

次に

[illegible]

以上

海南島・牛皮増産へ

現地政府で收買管理

【海南島支局】海南島の牛皮[illegible]

植物性食料油販賣價格指定

[illegible]

經濟統制團體の檢討

被統制者も責任を盡せ

決戰運輸の逼迫せる戰局に鑑み政府では九月二十一日の閣議に於て決戰下戰時的な國内態勢强化方策を決定、行政運營の決戰化、國民動員の徹底、國内態勢の徹底强化に邁進すべく、一億國民の

常在戰場　の敢鬪精神を昂揚、官民の積極的協力と一層の盡力を要望したのである。[illegible]

企業整備　に伴ふ[illegible]

本島では既に經濟統制の整備に關し[illegible]統制會社並びに統制組合は次の通り相當數に上つてゐる

	統制會社	統制組合
△食糧品部門		
米穀	一	四
砂糖	一	三
茶	二	一
鹽	一	六
味噌醬油	―	二
菓子	―	―
青果	一	一
罐詰	二	二
△金屬機械部門		
鐵鋼	四	三
故鐵屑	一	―
機械	二	八
△纖維及同製品部門		
麻	―	三
棉花	一	三
纖維製品	一	五
帽	一	六
△化學製品部門		
ゴム製品	三	四
皮革及同製品	三	―
石炭	二	―
藥品	一	二
肥料飼料	一	三
紙	一	二
△雜貨部門		
陶磁器硝子	一	一
[illegible]	二	―
△燃料部門	二	二
△土木建築部門	―	五

	統制會社	統制組合
△交通運輸部門		
陸運	一	三
海運	一	一
△貿易部門	二	三

備考　統制組合には協會、[illegible]等を含む

時局便乘　者の利用機關で[illegible]

行き詰り　が招來されたの[illegible]

百尺竿頭　一歩進め中央に[illegible]

官僚統制　の缺陷は否定さ[illegible]

國民經濟　の要請を離れて[illegible]

統制計畫　樹立から實施[illegible]

（有馬生）

盤谷にも"臺灣館"

泰國の首都バンコックは我が邦人の進出[illegible]（元泰國[illegible]トロカデロ・ホテル）

十月中手形交換高

本年十月中の臺北手形交換所[illegible]

	交換高	
臺銀	[illegible]	[illegible]
三和	[illegible]	[illegible]
三工	[illegible]	[illegible]
彰化	[illegible]	[illegible]
勸銀	[illegible]	[illegible]
華南	[illegible]	[illegible]
臺商	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

市況（十三日）

兜町前場況

【東京電話】[illegible]

植物性食料油價格（單位圓）

大豆白絞油	[illegible]	[illegible]
落花生油	[illegible]	[illegible]
精製落花生油	[illegible]	[illegible]
胡麻油	[illegible]	[illegible]
精製胡麻油	[illegible]	[illegible]
精製椰子油	[illegible]	[illegible]
精製茶實油	[illegible]	[illegible]

野村の投資信託

財産の保全に理想的な
野村の投資信託

第九回募集中
一口　五百圓

野村證券台北支店
台北市表町二ノ一〇

氣管支カタルの咳
喘息・感冒咳・咽喉の痛み・百日咳

定評ある
龍角散
たんせきせんたく

實驗すみの效きめ

藤井得三郎商店

お願ひです、時節柄、節約して、大切にお使ひ下さい。
パピリオ

胃腸に
エビオス

消化不良
常習便秘
食慾不振
脚氣・倦怠

B不足症に……
本劑の投與は、B複合體の豐富な含有により、胃腸機能を旺盛にし食物の榮養化を計る……
特に姙娠時、衰弱時に胃腸の活動を昂進し榮養を佳良ならしめ經過を良好にす。

空瓶は物資愛護のため藥店へ御持參を

恐懼　國母陛下の思召
銃後の婦人激感

【東京電話】畏くも 皇后陛下におかせられては[illegible]なる決戰下、銃後婦人の上に畏き聖慮を寄せさせられ先に各 妃殿下を各地に差遣され銃後婦人の敢鬪ぶりを[illegible]なく視察せしめられる旨仰出あらせられ、秩父宮妃殿下が去る五月中旬[illegible]を御視察あらせられたのを始め、各妃殿下には爾來約半ヶ年に亙つて全國各縣下を御視察この程 高松宮妃殿下[illegible]の[illegible]殿下御視察を以つて全國御視察を滯りなく了へさせられたが畏くも 皇后陛下には御視察より御歸京の各 妃殿下につての都度[illegible]全國の銃後女性の總力戰下[illegible]敢鬪ぶりを具さに御聽取あらせられる[illegible]決戰下、銃後[illegible]に[illegible]親しく御[illegible]あらせられたと承る[illegible]

皇后陛下には先に大日本婦人會[illegible]

畏し　皇后陛下
台覽、農村婦人の活動狀況を

【東京電話】畏くも 皇后陛下におかせられては去る六月二十一日御自ら東京都七尾村に行啓遊ばされ[illegible]に挺身する農村婦人の活動狀況を台覽あらせられたが更に 皇族 王公族各妃殿下御十五方には 皇后陛下の內旨を奉じさせられ大[illegible]

東亞戰下に於ける地方民の活動狀況、特に[illegible]に協力奉公する[illegible]の婦人の活動狀況及その施設を御視察あらせられるため五月中旬より十一月中旬に至る間、春、秋[illegible]期に夫々各地方に[illegible]せられたが本月十三日 高松宮妃殿下の[illegible]御視察を以て御視察を御終了あらせられた、御成り地方は一道二府二十六縣に亙り各地方に於ける主なる御視察個所は、[illegible]、母子保健及び乳兒保健施設、[illegible]施設、銃後奉公施設、方面[illegible]施設、[illegible]生徒の勤勞奉仕等であ[illegible]

[illegible]地方民一同は只[illegible]に感激[illegible]と共にこの光榮を永く子々孫々に傳へるため各縣の記念事業が計畫されてゐるが十三日までに內務省に報告されたものは次の通りである

一、御成り記念[illegible]（山形縣山形町銃後奉公會[illegible]）

一、妃殿下の御覽を賜はりたる稻[illegible]一束を部落の[illegible]に[illegible]分ち[illegible]に努めたり（[illegible]村）

一、[illegible]

御下賜の菊花傳達

【東京電話】畏くも 皇后陛下におかせられては[illegible]

以下の中堅婦人約[illegible]名の[illegible]

長谷川總督、島民を代表　明治神宮參拜

【東京電話】ソロモン海域に[illegible]

臺灣決戰文學會議【午後】

臺灣決戰文學會議は十三日午後一時十五分から再開、議事に入るに先立ち、濱田正雄氏の

今日よりはかへりみなくて大君の醜の御楯といでたつわれは

との烈々たる短歌朗詠あり、山本孕江氏の

南海の戰果かがやき秋高し

との俳句朗詠がこれにつづけば、また川[illegible]正光氏立つて、[illegible]決戰文が[illegible]んでゐるませんか、と前置して

決戰文[illegible]己を[illegible]つ詠ばかりと詠みあげて、一[illegible]を[illegible]はせ、時ならぬ和やかな空氣を漂はせた、それより詩人西川滿氏が立つて

われらの文[illegible]は[illegible]

われら文學者は、[illegible]の尖兵の[illegible]を[illegible]よう

勝ちぬくための作品を書かう

と詠んで、直ちに議事に入つた、[illegible]田[illegible]治氏、立つて“[illegible]和”の[illegible]と題して、決戰文[illegible]を[illegible]立するには、まづ何を措いても內[illegible]を[illegible]することが先決である、これが出來ずに如何なる[illegible]が[illegible]されようともそれは單なる口頭に過ぎない「一人の[illegible]者も出すな」これが私の言はんとする[illegible]であ[illegible]る、共に手を取りあふ心構へ、これが出來てはじめて文[illegible]の[illegible]が確立するのだと[illegible]する、それより西川滿氏の[illegible]で[illegible]について[illegible]なる[illegible]が[illegible]員の間において[illegible]されたが、議決するに至らず、この[illegible]を[illegible]員會を設けて[illegible]することに[illegible]

それより再び議事に入り、[illegible]泉氏（臺中）は[illegible]民文學について[illegible]

[illegible]新[illegible]氏（臺南）日本精神の[illegible]、[illegible]田[illegible]氏（臺北）[illegible]への[illegible]、身田[illegible]吉氏（[illegible]）[illegible]、濱口正雄氏（臺北）作家指導に就いて、佐々木[illegible]司氏（臺北）[illegible]を通して[illegible]、阿川[illegible]氏（[illegible]中）より俳句を通しての皇民[illegible]と本島同胞に[illegible]を[illegible]しめるために本島に俳句文學の普及を計りたい、と提案、次に郭水潭氏（臺南）より文學[illegible]の[illegible]についての[illegible]表あつて第一部の議事を終つた、つづいて第二部議事に入り、村田[illegible]氏（臺北）の國民文學に[illegible]て川見[illegible]太郎氏（臺北）青少年[illegible]の刊行、[illegible]村一雄氏（臺北）[illegible]古[illegible]本の刊行[illegible]小林一之氏（[illegible]）地方文化の指導、[illegible]西川滿氏（臺北）文[illegible]の[illegible]、竹內實次氏（臺北）古典研究[illegible]の設置、[illegible]野[illegible]氏（臺北）前[illegible]文學[illegible]の[illegible]、[illegible]若氏（臺北）[illegible]生活報道について[illegible]正[illegible]氏（[illegible]）文學者の現地派遣、山口[illegible]正明氏（臺北）[illegible]文學の[illegible]、竹內治氏（臺北）演劇[illegible]について、[illegible]氏（臺北）[illegible]文[illegible]、[illegible]大東亞の[illegible]、[illegible]田[illegible]雄氏（臺北）大東亞

決議

[illegible]

昭和十八年十一月十三日

臺灣決戰文學會議

本島文學革新に期待
濱田隼雄氏の感想

[illegible]

守らう、我等の大空
奉公防空群の歌發表

我等の大空は我等の手で…奉公防空群の燃える防空[illegible]や奉公魂が一致團結して和やかに銃後奉公に邁進してゐる姿をたたへて[illegible]中央本部で、かねて企畫した「奉公防空群の歌」並に「[illegible]しい奉公班」の發表會は軍人遺族の慰安と防空群長の[illegible]をかね十三日午後一時、同七時の二回に亙り臺北市公會堂で開かれた、[illegible]子、牧元マリ子氏指[illegible]の[illegible]、又[illegible]の吹奏樂や岩田泉、三浦とみ子氏等による歌唱指導、二高女生徒や若柳吉[illegible]、[illegible]社中の舞踊等番組が次々と繰りひろげられ決戰下に相應しい歌と踊りの會であつた（寫眞は發表會）

感狀上聞に達し
感激の大津部隊長

【〇〇基地】[illegible]に[illegible]たる武勲を[illegible]して部隊感狀を授與され今回畏くも感狀 上聞に達せられるの光榮に浴した大津[illegible]部隊長は[illegible]のため〇〇基地にて[illegible]中である、[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]し、その感激を次の如く語つた

今回感狀 上聞に達せられるとの通知を拜し只々感激の外ありません、私にとりこの上もない光榮でありまして、これ偏へに上は上司の[illegible]下は部下の忠[illegible]な[illegible]の[illegible]でありまして[illegible]ことの上はこの光榮に[illegible]へすべく一死もつて君國に[illegible]することを[illegible]であります

部隊長はしばし[illegible]目した[illegible]の如くつけ加へた

自分は大[illegible]を[illegible]つくづく思ふことはたんと言つても訓練であります、一にも訓練二にも訓練であつて訓練なくして必勝はない、特に私の部下は[illegible]を[illegible]ものであつて[illegible]が[illegible]勝利を加へる時わが[illegible]の心に[illegible]へ一[illegible]と[illegible]に[illegible]かねばならぬ、今回のこの光榮と[illegible]を[illegible]下にも頒ちたいと思ひます

專門學校以上に
海軍軍事教育を强化

【東京電話】海軍では昭和十四年以來文部當局と協議して大學、高等專門學校、師範學校に對し海軍[illegible]を實施して來たが、大東亞戰爭勃發以來[illegible]なる戰局に[illegible]して從來の一般學生生徒に對する海軍[illegible]を更に徹底するため今回文部當局と協議の上海軍[illegible]を[illegible]し專門學校以上に[illegible]することとなり、[illegible]十二月から實施することになつた、これに依ると專門學校以上に海軍[illegible]武官を臨時派遣して從來から實施されてゐる[illegible]と相俟つて學生生徒の基礎[illegible]の[illegible]を[illegible]するもので[illegible]、海洋[illegible]の[illegible]等に[illegible]する知識を普及するもので一般の

海軍省當局談　從來の一般學生生徒に對し海洋思想の[illegible]と海洋國防の重要性を認識せしめることの肝要なることを認め、昭和十四年以來文部當局と協議の上大學及び師範學校などに海軍武官を臨時派遣して海軍[illegible]を實施してゐたものであるが、現戰局下海軍軍事教育を更に强化するの要あることを痛感し、今般右に關する勅令を發表せられ文部省當局と協議の上專門學校以上の學生生徒に對し海軍に關する海軍軍事教育を强化[illegible]する次第であつて、從來實施せられてゐる[illegible]と相俟つて生徒の基礎國防能力向上に資せんとするものである、海軍諸學校、海兵團及び民間の海洋[illegible]では[illegible]及び[illegible]の[illegible]部外から[illegible]みを受けた時な[illegible]に[illegible]の[illegible]を[illegible]すると[illegible]出來る[illegible]

學生生徒に[illegible]なつた、[illegible]大學學部、同[illegible]科、高等學校、專門學校、高等師範學校若くは師範學校または[illegible]所、青年學校教員養成所の男子學生生徒または生徒に對し海軍の軍事教育を行ふため必要な時は海軍大臣は文部大臣と協議して海軍現役武官を[illegible]所に派遣することが出來る、以上の場合を除く外海軍大臣は[illegible]內大臣[illegible]または[illegible]大使から各所屬の學校の教員[illegible]同程度以上の學校の學生生徒に對して行はれる海軍の軍事教育について協議を受けた時は內地の學校と同樣に[illegible]を派遣する、向これ等の[illegible]に[illegible]されるる現役武官は當分の間召集中の[illegible]または[illegible]武官を充てることになつてゐる

最高能率の發揚へ
高雄州　青年建設隊を組織

【高雄電話】[illegible]戰力の一翼を擔ひ最少の勞力と最少の時間を以つて最大の效果を擧げんとするには[illegible]青年層の[illegible]を[illegible]し[illegible]の先驅として[illegible]に[illegible]せしむべく高雄州では先に州下青年團の二三部制を[illegible]して[illegible]行青年[illegible]を組織し[illegible]し[illegible]工[illegible]を[illegible]に[illegible]或ひは[illegible]用[illegible]に[illegible]て[illegible]して奉仕せしめ、その[illegible]公の[illegible]を[illegible]して、いづれも[illegible]以上の[illegible]を收めてゐるがこの[illegible]として[illegible]高雄州では[illegible]を[illegible]されるので[illegible]

決戰の構へを强調
嘉義市の奉壯團蹶起す

【嘉義電話】[illegible]十三日午後八時から[illegible]

一、[illegible]

二、[illegible]

三、[illegible]

四、市民の防空[illegible]を示す事

令旨奉戴式
基隆市警防團

【基隆電話】基隆市警防團では十四日午前十一時から公會堂で[illegible]大日本[illegible]警防團[illegible]及び[illegible]式を擧行した

警防團令旨奉戴式

【臺中電話】臺中州[illegible]は十三日午後一時より[illegible]において木下[illegible]以下全部[illegible]し[illegible]された[illegible]の[illegible]

大麻頒布式

【臺南電話】臺南州の神宮大麻頒布式は十三日午前十時半より州會議事堂において[illegible]以下[illegible]參列し嚴肅に執行、[illegible]及び[illegible]を[illegible]

神饌米
奉獻引繼式

[illegible]

輝く有功章
光榮、臺灣の郷軍三氏

【臺北電話】[illegible]

臺中州參事會

【臺中電話】臺中州參事會は十三日午前十時より[illegible]

職員鍊成會

【花蓮港電話】[illegible]

戰果擧る、國民貯蓄
少數の未完納者は戶別訪問

【花蓮港電話】國民貯蓄に邁進する花蓮港市民の[illegible]

闘ふ赤十字

[illegible]

拔荷犯人續々摘發
非國民として斷乎處斷

[illegible]

國有林を農耕地へ
花蓮港廳食糧增產施策

[illegible]

硬貨美談

[illegible]

兵役適格青年鍊成

[illegible]

愛國心を反映　飛行機獻納へ

[illegible]

製炭戰士慰問

[illegible]

產網品評會

[illegible]

藥品法非打合會

[illegible]

醫道も決戰
臺灣醫師會幹部鍊成會

[illegible]

鐵道人事異動

[illegible]

皇軍將兵慰問金（三）

[illegible]

累計金　百八十九圓十一錢

小計金　四千七百廿二圓九十六錢

臺日案內

[illegible]

御禮に代へて

倉庫借受度シ　高砂紡毛株式會社

辯護士　小山內績　臺北市表町一ノ三

川田種治

株式會社臺灣商工銀行　第[illegible]期決算公告

內科　吉田內科醫院

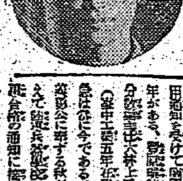
小兒科　內科　南風原病院

會葬御禮　光成純夫

使命に奮起の學徒

本島同胞初の合格

陸軍兵器學校へ……豐原　大林吉介君



【豐原】決戰下祖國の爲め何んで命が惜しからうか[illegible]

君は一緒に入隊するのだと答へた[illegible]自分の子供も今二人お召を受けて[illegible]

空へ空への進軍譜

豐原街から四名合格

【豐原】決戰下へ！山本元帥に續かんと若き學徒達は熱血を滾らせつつに大空へ逞しい進軍譜が奏でられてゐる秋、豐原郡から四名合格と言ふ快報が齎されたが[illegible]

郷土の譽れ

海鷲志願の先陣　臺東

海軍甲種飛行豫科生へ　西野善信君合格

【臺東】臺東から飛び立つ最初の海鷲―人生二十五年の死生觀を[illegible]

【寫眞は西野善信君】

感激は感激を生む

海鷲の學生と一老人

軍中美談

【高雄】[illegible]

見送りに[illegible]

令旨傳達式

十五日高雄州擧行

【高雄電話】高雄州では十五日午前十時より州會議事堂に於て州下各部隊に對し今回[illegible]より賜はりたる令旨の傳達式を擧行

令旨傳達式

高雄日婦で擧行する

【高雄電話】日婦高雄市支會では十五日午前十時高雄神社に於て皇后陛下より賜はりたる令旨の傳達式を擧行する

糊仔黄麻栽培に就て（下）

黄麻に代るその卓越性

糊仔黄麻栽培法及試作の經過

[illegible]

播種方法　[illegible]

萎縮枯死　[illegible]

曾添旺君戰死

【臺南】臺南州會支部下[illegible]一〇一番地[illegible]曾添旺君[illegible]

軍艦旗の下へ

港都高雄諸學校合格者

【高雄】軍艦旗の下に馳せんとする高雄州下の若き血潮る海軍志願兵志願者に對する詮衡は十一、十二の兩日高雄市役所に於て執行されたが、〇〇名の合格者の中にペンを投げ捨てて祖國より馳せ參じた意氣旺なる學徒の名が連ねてありしかも[illegible]州下學校の合格者左の通り

高雄中學校	五名
高雄商業學校	十四名
高雄商工專修學校	六名
高雄工業學校	五名
屏東中學校	一名
屏東農業學校	一名
臺南師範學校豫科	一名

奥少將以下〇〇柱英靈

偉勳は薫る永久に

第四部隊の合同告別式

【臺南電話】大東亞戰下米英撃滅に[illegible]

榮譽の戰死

海軍軍屬郭來發君

皇軍慰問熱誠

東石より二千餘圓

北斗警察招魂祭

山刀の獻納運動

門外不出の秘藏も出る

戰果感激獻金

臺中州神宮大麻頒布始奉告祭

臺灣文學

決戰體制成る

情報課員　齋藤　勇

[illegible]

本大會　[illegible]

陣頭指　[illegible]

各分野　[illegible]

遞信部異動

軍事

毒瓦斯使用の歴史

油斷大敵米では準備

[illegible]

澎湖奉公常會査察

[illegible]

ラジオ

第一放送　[illegible]

第二放送　[illegible]

椰子

(97)

海野十三作　村上松次郎繪

意外な吉報（五）

[illegible]

戰爭保險　東京火災

心臓強化に　救心

今日の映画　[illegible]

新竹の映画　[illegible]

戰ふ女性に　命の母　笹岡三省堂藥房

家庭教育・家庭娛樂の最高峰　映寫機　東亞光學研究所

四十錢で分讓　足袋の型紙　特約店募集

タバコのみの　歯磨スモカ

東京寫眞學校　鍼灸と電療術指導

健民住宅　臺灣住宅無盡株式會社

國報康健　戰時だ働かう　ミネラール　臺北州賣藥製造工業組合